

日本初?! ラップにまつわる展覧会を開催!

IRAP MUSEUM

展覧会タイトル ラップ・ミュージアム展

会期 2017年8月11日[金・祝]-2017年9月24日[日]

開館時間 10:00-17:00(土日祝は延長あり・入場は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日(祝日の場合、翌日)

料金 一般:800円(700円)、65歳以上の方・大高生600円(500円)、中学生以下・
障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。()内は20名以上の団体料金。

主催 市原湖畔美術館[指定管理者:(株)アートフロントギャラリー]

企画協力 荻開津広、ダースレイダー、磯部涼

『ラップ・ミュージアム』展は、未来のコミュニケーションの世界です。

荻開津広(DJ/ 京都精華大学非常勤講師)

ニューヨークでラップ/ヒップホップが生まれてから約40年。日本でラップが生まれてから約30年が過ぎようとしており、現在では、多種多様なラップ、ラッパーが存在しています。特に近年は、ラップのバトルを行うTV番組「フリースタイルダンジョン」の人気を始め、「ラップブーム」とも呼べる現象が起きています。若者を中心に、ラップをする人たちも増えてきて、これまで以上に多くの場所でラップを耳にするようになってきているはずですが。

では、果たしてラップとは、いったいどんなことをしているのでしょうか?本展では、ラップをひとつのアートフォームとして捉え、その構造を分析しながら、ラップから派生された文化的実践に焦点を当てる日本で初めての展覧会です。



展覧会の見どころ

ART OF RAP/RAP PRACTICE

本展では、1) ラップそのもののつくり、構造に注目し、映像等でみせる「ART OF RAP」と、2) ラップという行為とその周辺の文化的実践を紹介する「RAP PRACTICE」を軸に、ラップをみせます。

ART OF RAPでは、いとうせいこう & TINNIE PUNXからKOHHまで、ラップのリズムの構造を可視化させた映像作品（制作協力：伊藤ガビン、大谷能生）のほか、ラッパーが実際に使用したりリック帳（出展予定：Mummy-D(RHYMESTER)、Ani, BOSE(スチャダラパー)、クボタタケシ、TWIGY、K DUB SHINE、SHING02ほか）を展示。



展示のイントロダクションでは「サイプレス上野の部屋」を再現予定
（『ジャポニカヒップホップ練習帳』（双葉社）より 撮影：木寺紀雄）



リック帳 提供：SHING02



展覧会の見どころ

RAP PRACTICEでは、ラップが生んだグラフィック、パフォーマンスに注目するほか、地域コミュニティとラップの関係について紹介していきます。ラップに付随するさまざまな国内での文化的実践をみせることで、コミュニケーション・ツールとしてのラップを明らかにしていきます。



90年代の日本語ラップにまつわるフライヤー
(提供：ファイルレコード)



雑誌サイゾー連載〈磯部涼の「川崎」〉より(撮影：細倉真弓)

関連イベント

8月11日(祝)には、オープニング記念MCバトル
「ART OF RAP /RAP OF ART presented by 鎖GROUP」を開催!

展示室内に登場する特設ステージにて、MCバトルを開催します。HOST MCを務めるのは、ダースレイダー。約10名のラッパーは、アートにまつわるお題でラップするほか、審査員は、当館館長・北川フラム(ほか)がつとめます。

そのほか、会期中の週末はトークイベントなどを開催予定。



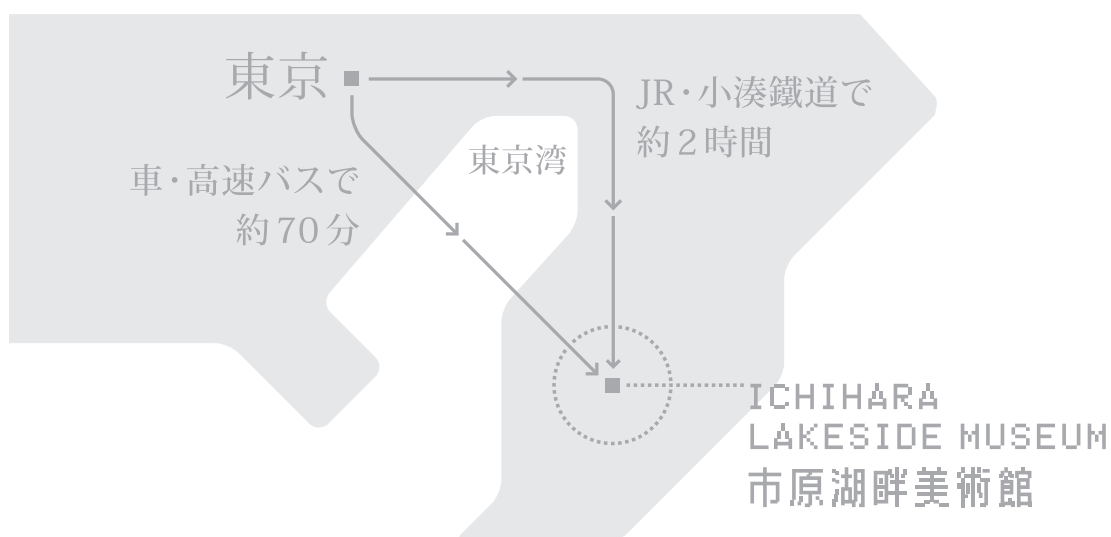
アクセス

所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

鉄道で：JR 内房線五井駅乗り換え 小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分又はバスで4分

お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間
(市原鶴舞バスターミナルよりタクシー 約5分)

**広報についてのお問い合わせ**

市原湖畔美術館 担当：渡辺 / 鶴谷

tel: 0436-98-1525 fax:0436-98-1521

press@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

